

## 北部生協食堂付近について

【ご意見・ご要望】（投稿日：2020年7月5日）

京大吉田キャンパスの北部生協食堂と、そのすぐ東側にある小さめの建物（廃液処理施設？）の間が高頻度で強烈な異臭を放っていますが、健康的に問題はないのでしょうか。最近ではコロナで人の動きも少ないからか異臭はありませんが、昨年以降は高頻度で異臭がしており、北部構内の利用者の中では周知の事実となっています。しかし改善の兆しが見えません。そもそも食堂という衛生管理の重要な施設の近くでこのようなことが起こるのはあまり好ましいとは思いません。

【回答】（回答日：2020年7月7日）

（回答者：京都大学生協）

北部生協会館の西側のことと思われます。西側には、生協の排水を下水に流せるようにするために除害設備があります。この設備は、地下に埋設されており流入する有機性残滓や動植物性の油脂を除去するためにあるのですが、正常に機能しないと曝気できずに残った油脂分が余剰汚泥となって強い腐敗臭を放ちます。基本的にはマンホールなどには密閉シールで匂いが外に出ることはないのですが、排気煙突から匂いが漏れることがあります。気圧の低いときや風向きで食堂西側周辺に悪臭が立ち込めることについては確認しています。

導入された除害設備は、設置から十数年が経過しており、機能の一部が低下していることも確認しており、昨年より改修、修理を行っています。このように北部共通事務部と厚生課、生協とで対策を講じているところです。

食堂部でも、出来る限り油脂分などを流出させないように調理器具の清掃時には油脂分の拭き取りなどを行い、厨房内の一次分離槽では毎日の残滓及び油脂分の除去を行っています。

利用者の皆さんにおかれましても、ドレッシングのかけ過ぎ、食べ残しを出さないなどの協力をお願いいたします。